

1. 教育委員会の活動状況について

（原案の2～7ページ）

No.	委員	意見等
1	伊井	<p>地理的にも幅広い石狩市の特性を考慮し、浜益区や厚田区の地域・教育事情に関する情報を収集しようとする意気込み（厚田区の学校の在り方検討や、祭りへの参加）が感じられる。</p> <p>スマートフォンやICT教育など、最新の教育事情の検討にも時間を割いている。実際の学校からの情報収集を今後とも継続して欲しい。</p>
2	村瀬	<p>全国的に問題となっているいじめ、不登校、体罰等、学校にとって最も重視すべき生徒指導に係る案件について、例年以上にきめ細かく状況を把握し、会議でとりあげていることは評価できる。</p>

2. 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性

施策（大項目）1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実

（原案の10～13ページ）

No.	委員	意見等
3	漆	<p>「確かな学力」は「わかる授業」が基本。先生が「わかる授業」を目指して工夫する授業への支援等の充実が優先されるように。</p>
4	伊井	<p>ICT教育、SAT、学力向上サポーターなど、学力向上のために様々な取り組みがなされている。その中には、成果を上げている事例もあれば、課題を抱える取り組みがあると考えられる。そのような事例を、市内の小中学校で「共有」し、日々の教育活動に活かせるシステムが必要であろう。</p>
5	村瀬	<p>学力向上には人的支援が欠かせないと思うので、今後も拡充していくことを期待する。</p>
6		<p>部活動外部指導者の活動日数が年々増えていることは評価でき、今後も拡充に努めることを期待する。</p>

施策（大項目）2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実

（原案の14～15ページ）

No.	委員	意見等
7	漆	特別支援教育は、取り組み内容が表面化されていないが、様々な人的対応がされながら、取り組まれている。先生方の深い理解のもとで、充実した教育活動が実現することを期待する。
8	伊井	前項目（大項目1）と同じように、行政主導による各学校での実践事例を共有できるシステム構築が必要と考える。
9	村瀬	星置養護学校高等部への進学環境を整えることを期待する。

施策（大項目）3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進

（原案の16～19ページ）

No.	委員	意見等
10	漆	学校づくりの要として、先生の存在は大きい。地域を良く知って頂きながら、学校、先生へのサポートを強く望む。
11	伊井	ボランティアを中心に多様な地域の教育資源を利活用している状況は、石狩市において、定着していると評価できる。今後は、その活動の「質」を吟味し、さらにこれらの活動を促進する必要がある。
12		セミナーについては、講演会形式のみならず、ワークショップ形式などを導入し、教員にとって「実践的」な内容をより多く含めることが望まれる。（コーチングへの講習会などは、その好例であろう）
13	村瀬	市主催の教職員研修に参加した教員数が目標値を上回っていることや、参加者が有意義だったと感じた人の割合が多いことは高く評価できる。

施策（大項目）4 学校教育を推進する環境の充実

（原案の20～23ページ）

No.	委員	意見等
14	漆	安心、安全対策についての工夫や対応が充実していると感じた。
15	伊井	給食の「いしかりデー」では、食材の地産地消だけではなく、地元の生産者やJAの担当者を交えた食育の授業を展開している。このような連携は、今後とも進めていくべきである。前年度の評価（担当部局との連携推進）に関連してもプラスに評価できる。
16		子育てに関する経済不安が上昇している点には、注目していく必要がある。（他の部局との連携が必要）
17	村瀬	食育と安全・安心等環境の整備は、学校教育の最も重要で基本的なことであることから今後とも十分配慮するよう期待する。
18		就学援助など、子育てに関し経済的に不安に思う家庭の割合が高くなっていることから、今後とも相談体制など、きめ細やかな対応を期待する。

施策（大項目）5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

（原案の24～30ページ）

No.	委員	意見等
19	漆	継続と充実した取組みが年々拡大している。
20		情操教育が平和教育につながって更に充実することを願う。
21		子どもたちの読書活動の取組み等は評価できる。
22		問題を抱える児童生徒への支援として「社会的自立」に向けた支援の強化を望む。
23	伊井	重複するが、各学校・施設での優れた事例の共有にくわえ、実際に教育実践に関わる方々と、活動の質的な検討も今後必要である。
24		「いじめ」の件数が23年度と比較して、増加したのは社会的な背景とも関連するのでしょうか？（20年・22年と比較すると、減少しているので、数値に毎年一喜一憂すべきではないのかもしれませんが。）
25	村瀬	豊かな人間性を育む教育活動として、情操教育や職業体験学習に力を入れていることは評価できる。
26		いじめに認知件数が去年より増えていることは、よりきめ細かく調査し、いじめに関する認識が浸透してきているともいえる。今後も生命に関わるいじめもあることから、関係者全員で根絶に向けた努力を期待する。

施策（大項目）6 心身の健やかな成長を促す教育の推進

（原案の31～35ページ）

No.	委員	意見等
27	漆	「望ましい家庭での生活習慣」の定着のための様々な取組みがなされている。
28		「子ども自身が自分を守るための教育」は今後更に重要。折にふれて、子ども、家庭に周知してほしい。（子育て中のカラスに対する自己防衛なども）
29		正しいラジオ体操や部活動の推進を望む。
30	伊井	指標を見ると、おおむね改善傾向にあると評価できる。
31		インターネットへの対応であるが、最近では、SNSやLineなど、これまでとは違った対策が必要になる状況がでてきている。その点への配慮を望む。
32	村瀬	「体力・運動能力調査」において、石狩市の小・中学生とも全国平均に近づいていることは評価できる。
33		望ましい生活習慣の定着は、地道で継続的な取り組みが重要であることから、今後も学校・家庭を軸とし、各関連団体と連携しながら継続することを期待する。

施策（大項目）7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援

（原案の36～38ページ）

No.	委員	意見等
34	漆	町内会で主体的に実施されている「防犯パトロール」は直接的な実績にはつながらないが、大切な活動として評価できる。
35		「子ども110番いしかりサポート事業」では、直接警察に通報するまでもないが、都度学校へ連絡して対応していただいているケースもある。
36	伊井	CAP事業への参加教職員の数が減少しているのは、関心がなくなったというより、一定程度「普及」したことを意味するのでしょうか？
37		管轄は教育委員会ではないが「こども未来館」は、運営の一部に実際の子ども達を参加させている。その手法をあい風寺子屋などに応用できれば、子ども達の自主性の推進に一層役立つ活動ができるのではないかと？

施策（大項目）8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実

（原案の39～42ページ）

No.	委員	意見等
38	漆	市民カレッジには地域（古くからの地元民）の達人をもっと起用してはどうか。
39		公民館まつり気軽に参加しやすい。（市民どうしの生の交流が実現されている。）
40		民間ユネスコ活動は33年目となりました。ユネスコスクール校の支援と平和意識の向上に努めてください。
41	伊井	いしかり市民カレッジを中心として、生涯学習環境の普及は実現していると評価できる。数値の上下動に一喜一憂すべきではないが、普及を一層進めるために、新たな取り組みを推進する支援を教育委員会にも期待する。
42	村瀬	石狩市の各地域におけるシニア世代を対象にした講座は、市民の多様な学習意欲を向上させるものとして引き続き充実に努めることを期待する。

施策（大項目）9 学習の拠点としての図書館サービスの充実

（原案の43～45ページ）

No.	委員	意見等
43	漆	一般市民（特に高齢者）からの大衆的な内容の増冊を望む声がある。サービスの充実につながらないだろうか。
44		中学生の文化活動の展示（壁新聞など）は継続してほしい。
45		図書館内で当日開催されているイベント、展示、講座などの内容を簡単に記入されている案内板があるとよい。
46		図書館周辺の野外利用はどうか。
47	伊井	21年度から一貫して利用登録者数・貸出点数の減少傾向が見られるのは、やはり気になる。とはいえ、もちろん、これらの数値が減少しているからといって、図書館を軽視することはあってはならない。減少傾向の原因究明を望む。
48		学校の読書推進事業との一層の連携を望む。
49	村瀬	図書館は市民への「知の発信源」としても重要な役割をもつことから、日常的な広報活動に力を入れることを期待する。

施策（大項目）10 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援

（原案の46～48ページ）

No.	委員	意見等
50	漆	市民の文化芸術への情熱が生きる力になっている。いつまでも元気な明るい町として、高齢者の意欲と元気が継続できるよう文化祭の支援に青年のボランティアが必要と感じる。
51		地元企業主体で「さけの遡上」見学の実施に期待したい。
52	村瀬	芸術文化はその町の文化の質を問われるものであり、子どもたちの心の豊かさや創造的活動の充実を図るためにも、拡充を図っていくことを期待する。

施策（大項目）11 ふるさとを学び伝える取組の充実

（原案の49～51ページ）

No.	委員	意見等
53	漆	浜益、厚田、旧石狩の交流を深めるため、旧石狩市民がドンドン2地区へ足を運んで行ける道を固めたい。（一体感は大切）
54		「ふるさといしかり」の子ども版の作成について、イメージを聞かせて下さい。
55		「はまます郷土資料館」とガルの運営の関連性の充実を図ることで、かつての「ふるさと塾」のイメージが創生されることを希望する。
56	伊井	入館者の増につながった、厚田資料室のボランティアグループの活動とは、どんなものなのでしょう。それが参考になれば、他の資料館ともノウハウを共有できれば望ましいのではないかと。
57		「ふるさといしかり」のこども版作成には、ぜひ、歴史・地理的な知識の習得だけでなく、必要とされる学力を培うという面で、学校との連携を重視して欲しい。
58	村瀬	石狩市の自然、歴史、文化等に関する講座の開催が年々増えていることは評価できる。今後は様々な手立てを講じて参加人数の増加することを期待する。